

日本語能力試験
JLPT Japanese-Language
Proficiency
Test

じゅ けん あん ない がん しょ
受験案内(願書)

Test Guide
(including Application Forms)

2026

JAPANESE-LANGUAGE
PROFICIENCY
TEST

し けん び
試験日/ 2026 年 7 月 5 日 (日曜日)

DATE/ JULY 5, 2026 (SUNDAY)

し けん び
試験日

Test Date

ねん がついつか にち
2026年7月5日(日)

July 5, 2026 (Sunday)

じゅけんがんしょ ていしゅつ こじんじょうほう と あつか ふく ほん し じゅけんあんない き さい
受験願書を提出した人は、個人情報^{こじんじょうほう}の取り扱い^{と あつか}を含めた本紙^{ほん し}（受験案内^{じゅけんあんない}）に記載^{き さい}
されたすべての事項^{じこう どうい}に同意したものとみなします。

Persons submitting the application form are deemed to have given their consent to all of the items contained in this Test Guide including the items concerning handling of personal information.

じゅけんがんとしよ き にゅうれい 受験願書 記入例

Application Form Example

くわしいことは22-31ページを見てください。

See p.22-31 for details.

(身体等に障害等がある方については、15ページも見てください。)
(See p.18, if you have a physical disability or other impairments.)

じゅけん と し めい
受験する都市名
を記入してくだ
さい。

Write the name
of the city where
you will take the
test.

じゅけん
受験するレベル
を数字で書いて
ください。
Write the number
indicating the
level of the test
you will take.

名前(活字体の大文字)を使ってください。
名、ミドルネーム、姓の間はひとまずあけてください。
Print your name in 26 English capital letters.
Leave one box blank between names.

き はな
切り離してはい
けません。
Do not cut off.

2026年7月日本語能力試験

The Japanese-Language Proficiency Test in 2026 (July)

受験願書

A

Application Form

受験上の配慮を希望
Request Special
Testing
Accommodations

(基金返送用)
For the Japan
Foundation

受験案内2ページにある「受験願書 記入例」を参考に、太枠内のみ正しく記入してください。
Fill in the information required in the boxed areas as shown in the "Application Form Example" on page 2 of the Test Guide.

受付年月日 Date Received

2026 年

月 Month

日 Day

① 受験レベル Test Site

N1

② 受験地 Test Site

Jakarta

③ 名前 Name

TINI WIJAYA

注：英字26文字(活字体の大文字)を使ってください。名前はこの欄に書かれた通りに試験結果通知書等に記載されます。
Note: Print your name in 26 English capital letters. Your name will be printed on the certificates as you write.

④ 性別 Gender

男 Male

女 Female

⑤ 生年月日 Date of Birth

1995 年

07 月

08 日

⑥ オンライン結果通知用暗証番号(8桁の数字1~9のみ) 8-digit passcode (numbers 1 to 9 only) for Online Test Results Announcement

13489264

⑦ 母語 Native Language

111

⑧ 日本語学習機関名 Institution where you are studying (or studied) Japanese-Language

Pusat Kebudayaan Jepang

⑨ 日本語学習の場 (1~6から1つ選ぶ) Place of learning Japanese (Choose a number from 1 to 6)

3

⑩ 受験目的 (1~8から1つ選ぶ) Reason for taking this exam (Choose a number from 1 to 8)

7

⑪ 職業 (1~6から1つ選ぶ) Occupation (Choose a number from 1 to 6)

3

⑫ 職業の種類 (1~6から1つ選ぶ) Occupational details (Choose a number from 1 to 6)

3

⑬ 日本語との接触媒体 Media via which you come into contact with Japanese language

1 2 ③ 4 ⑤ ⑥ 7 8 9

日本語を使用する相手 The person with whom you usually communicate in Japanese

⑭ 先生 with a teacher ⑮ 友人 with friends ⑯ 家族 with family ⑰ 上司 with a supervisor ⑱ 同僚 with colleagues ㉑ 顧客 with customers

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ㉑

過去受験回数 Times of taking JLPT

㉒ 2 ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺

最終の可否 Pass/Fail of the last time at each level

㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺

⑳ この受験案内に書いてあるすべてのことを理解し、同意した上で受験を申し込みます。
I, by submitting this form, understand and agree to all the conditions and contents of the Test Guide.

署名/Signature

日付/Date

しょうがいとう じゅけんじょう
障害等により受験上の
配慮が必要な場合は
チェックしてください。
If you have a physical
disability or other
impairments and need
Special Testing Accom-
modations, please check
the box.

か
書いてはいけま
せん。
Do not fill in
this part.

1~9月(日)のと
きは、前に0を
書いてください。
Write "0" here
if the month or
date is
between 1
and 9.

25-26ページを
見てください。
See p.25-26.

26-30ページを
見てください。
See p.26-30.

じゅけん
受験したことがない
ときは、何も書か
ないでください。9回以
上受験したときは、9
と書いてください。
Leave it blank if
you have not taken
each level of JLPT.
If you have taken
it 9 times or more,
write 9.

しよめいらん
署名欄：
署名と日付を記入し
てください。

Write your signature
and the date.

名前と住所とEmail
をはっきりと書いて
ください。

Write your name,
address and Email
correctly and clearly.

か
書いてはいけま
せん。
Do not fill in
this part.

MAILING ADDRESS

試験結果通知書類
送付用住所
(For sending the test
results)

名前 Name

TINI WIJAYA

住所 Address

Summitmas I, 2F, Jl. Jenderal Sudirman
Kav. 61-62, Jakarta Selatan
(Postal Code) 12069 (Country/Area) INDONESIA
(Tel.) 021-90-2603
(E-mail) Jukengansyo@jpf.go.jp

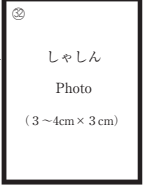
受験番号

26A

しゅつがん
出願するためには署名は必須です。
(詳しくは30ページを見てください。)

Your signature is required in order to apply for the test.
(Please refer to P.30 for details.)

じゅけんひょう Test Voucher



しゃしん
Photo
(3~4cm × 3 cm)

2026ねん 7がつ にほんごのうりよくしけん
The Japanese-Language Proficiency Test in 2026 (July)

じゅけんひょう
Test Voucher



じゅりよういん/サイン
Seal or Signature

じゅけんレベル Test Level	N1	じゅけんち Test Site	Jakarta	じゅけんばんごう Examinee Registration Number
				26A
なまえ Name	T I N I W I J A Y A			
せいべつ Gender	おとこ ☐ Male ☒ おんな Female ☐ かわらぬ N/A	せいねんがっぴ Date of Birth	ねん Year 1995	つき Month 07
			ひ Day	08

Please make sure that all the necessary information is clearly legible. If there is any mistake in your name, gender, or date of birth, notify the local host institution by June 5, 2026. Please note that no change of the test site or the test level will be allowed after the Application Form has been submitted.

Be punctual to the time specified by the host institution. You will not be permitted into the test room if you are late.

On the day of the test, you should bring your own writing utensils (black medium-soft (No.2, HB, B or 2B) pencils and a plastic eraser) and a photo identification in addition to this Test Voucher.

うけつけじかん Check-in Time

2026.7.5 (にちようび)
July 5, 2026 (Sunday)

しけんかいじょう Name and Address of Test Center

じゅけんりょう Test Fee

じゅりよういん/サイン
Seal or Signature

※しけんの ひの もちもの
じゅけんひょう、くろいえんぴつ
けしごむ、しゃしんつきのみぶん
しょうめいしょ

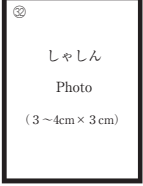
じゅけんレベル、じゅけんち、じゅけんばんごう、なまえ、せいべつ、せいねんがっぴは 間違いですか。ただしきかないときは じしきかんに れんらくしてください。しめきりは 6がついつかです。

じゅけんレベルと じゅけんちは かえることができません。

じしきかんに してあるじかんに おくれないうください。

おくれたら へやに はいれません。

じゅけんひょう(ひかえ) Test Voucher (Copy)



しゃしん
Photo
(3~4cm × 3 cm)

2026ねん 7がつ にほんごのうりよくしけん
The Japanese-Language Proficiency Test in 2026 (July)

じゅけんひょう(ひかえ)
Test Voucher (Copy)



じゅりよういん/サイン
Seal or Signature

じゅけんレベル Test Level	N1	じゅけんち Test Site	Jakarta	じゅけんばんごう Examinee Registration Number
				26A
なまえ Name	T I N I W I J A Y A			
せいべつ Gender	おとこ ☐ Male ☒ おんな Female ☐ かわらぬ N/A	せいねんがっぴ Date of Birth	ねん Year 1995	つき Month 07
			ひ Day	08

じゅけんレベル、じゅけんち、じゅけんばんごう、なまえ、せいべつ、せいねんがっぴは 間違いですか。ただしきかないときは じしきかんに れんらくしてください。しめきりは 6がついつかです。

じゅけんレベルと じゅけんちは かえることができません。

じしきかんに してあるじかんに おくれないうください。

おくれたら へやに はいれません。

Please make sure that all the necessary information is clearly legible. If there is any mistake in your name, gender, or date of birth, notify the local host institution by June 5, 2026. Please note that no change of the test site or the test level will be allowed after the Application Form has been submitted.

Be punctual to the time specified by the host institution. You will not be permitted into the test room if you are late.

目次

I. 日本語能力試験について	
1. 目的と実施	7
2. 試験内容	7
(1) 試験科目と試験時間	7
(2) 認定の目安	8
(3) 試験科目と得点の区分	9
(4) 合否の判定	9
(5) 結果の見かた	10
II. 2026年7月日本語能力試験について	
1. 受験手続き	15
(1) 受験手続きの方法	15
(2) 受験上の配慮について	15
2. 不正行為	16
3. 試験当日の持ち物	17
4. 試験の結果	17
(1) 試験結果通知書類	17
(2) オンライン結果通知	17
(3) 「認定結果及び成績に関する証明書」の複製発行	17
(4) 試験結果通知書類の真偽確認について	17
5. 受験願書・受験票の記入方法	22
6. 試験問題の内容	31
7. 解答用紙の記入方法	32
(1) 記入上の注意	33
(2) 受験番号と生年月日の書き方	34
(3) 答えの書き方	35
8. 願書記入データおよび採点結果等の利用	36

Contents

I. The Japanese-Language Proficiency Test

- 1. Objectives and Administration of the Test 11
- 2. Contents of the Test 11
 - (1) Test Sections and Test Times 11
 - (2) A Summary of Linguistic Competence Required for Each Level... 12
 - (3) Test Sections and Scoring Sections 13
 - (4) Pass or Fail 13
 - (5) Understanding JLPT Certificates 14

II. The Japanese-Language Proficiency Test in 2026 (July)

- 1. How to Apply 18
 - (1) Application Procedure 18
 - (2) About Special Testing Accommodations 18
- 2. Misconduct 19
- 3. What to Bring on Test Day 20
- 4. Test Results 20
 - (1) Certificates 20
 - (2) Online Test Results Announcement 20
 - (3) Duplication of “Certificate of Result and Scores” 21
 - (4) Genuineness of Test Results 21
- 5. How to Fill in the Application Form and Test Voucher 22
- 6. Contents of Test Questions 31
- 7. How to Fill in the Answer Sheet 32
 - (1) Note 33
 - (2) How to Fill in Your Registration Number and Date of Birth 34
 - (3) How to Fill in the Answers 35
- 8. Confidentiality of Contents of the Application Form and JLPT Scores 36

I. 日本語能力試験について

1. 目的と実施

(1) 目的

この試験は、原則として日本語を母語としない人を対象に、日本語能力を測定し、認定することを目的とします。

(2) 実施者

独立行政法人国際交流基金（以下、国際交流基金という）が海外の試験実施機関の協力を得て実施します（台湾は公益財団法人日本台湾交流協会と共催で実施します）。日本国内は、公益財団法人日本国際教育支援協会（以下、日本国際教育支援協会という）が実施します。

(3) 対象

原則として日本語を母語としない人。

2. 試験内容

(1) 試験科目と試験時間

試験科目と試験時間は下の通りです。

レベル	試験科目（試験時間）		
N1	言語知識（文字・語彙・文法）・読解（110分）	聴解（55分）	
N2	言語知識（文字・語彙・文法）・読解（105分）	聴解（50分）	
N3	言語知識（文字・語彙）（30分）	言語知識（文法）・読解（70分）	聴解（40分）
N4	言語知識（文字・語彙）（25分）	言語知識（文法）・読解（55分）	聴解（35分）
N5	言語知識（文字・語彙）（20分）	言語知識（文法）・読解（40分）	聴解（30分）

N1とN2の試験科目は①「言語知識（文字・語彙・文法）・読解」と②「聴解」の2科目です。N3、N4、N5の試験科目は①「言語知識（文字・語彙）」、②「言語知識（文法）・読解」、③「聴解」の3科目です。

各レベルの問題例は、日本語能力試験公式ウェブサイト（<https://www.jlpt.jp/>）を参照してください。

なお、2025年7月試験より、休憩時間中においても、携帯電話等（スマートウォッチやすべてのカメラ・通信機能を有する機器を含む）の使用を原則禁止としています。詳細については、p.16の「2.不正行為」を参照してください。試験に関係ない電子機器類は試験会場に持ち込まないでください。

また、2026年7月試験より、受付時間および試験開始時間に遅れた場合は、各科目の受験を認めません。指定された時刻に遅れないよう、必ず時間内に試験室へ入室してください。

(2) 認定の目安

各レベルの認定の目安は下の通りです。認定の目安を「読む」、「聞く」という言語行動で表しています。それぞれのレベルには、これらの言語行動を実現するための言語知識が必要です。

レベル	認定の目安
N1	幅広い場面で使われる日本語を理解することができる 【読む】・幅広い話題について書かれた新聞の論説、評論など、論理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章などを読んで、文章の構成や内容を理解することができる。 ・さまざまな話題の内容に深みのある読み物を読んで、話の流れや詳細な表現意図を理解することができる。 【聞く】・幅広い場面において自然なスピードの、まとまりのある会話やニュース、講義を聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係や内容の論理構成などを詳細に理解したり、要旨を把握したりすることができる。
N2	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる 【読む】・幅広い話題について書かれた新聞や雑誌の記事・解説、平易な評論など、論旨が明快な文章を読んで文章の内容を理解することができる。 ・一般的な話題に関する読み物を読んで、話の流れや表現意図を理解することができる。 【聞く】・日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができる。
N3	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる 【読む】・日常的话题について書かれた具体的な内容を表す文章を、読んで理解することができる。 ・新聞の見出しなどから情報の概要をつかむことができる。 ・日常的な場面で目にする難易度がやや高い文章は、言い換え表現が与えられれば、要旨を理解することができる。 【聞く】・日常的な場面で、やや自然に近いスピードのまとまりのある会話を聞いて、話の具体的な内容を登場人物の関係などとあわせてほぼ理解できる。
N4	基本的な日本語を理解することができる 【読む】・基本的な語彙や漢字を使って書かれた日常生活の中でも身近な話題の文章を、読んで理解することができる。 【聞く】・日常的な場面で、ややゆっくりと話される会話であれば、内容がほぼ理解できる。
N5	基本的な日本語をある程度理解することができる 【読む】・ひらがなやカタカナ、日常生活で用いられる基本的な漢字で書かれた定型的な語句や文、文章を読んで理解することができる。 【聞く】・教室や、身の回りなど、日常生活の中でもよく出会う場面で、ゆっくり話される短い会話であれば、必要な情報を聞き取ることができる。

(3) 試験科目と得点の区分

各レベルの得点区分と得点の範囲は下の通りです。試験科目と得点区分は一致しませんので注意してください。得点は「尺度得点*」で表示されます。

レベル	試験科目	得点区分	得点の範囲
N1	① 言語知識 (文字・語彙・文法)・読解	① 言語知識 (文字・語彙・文法)	0～60
N2	② 聴解	② 読解	0～60
		③ 聴解	0～60
		総合得点	0～180
N3	① 言語知識 (文字・語彙)	① 言語知識 (文字・語彙・文法)	0～60
	② 言語知識 (文法)・読解	② 読解	0～60
	③ 聴解	③ 聴解	0～60
		総合得点	0～180
N4	① 言語知識 (文字・語彙)	① 言語知識 (文字・語彙・文法)・読解	0～120
N5	② 言語知識 (文法)・読解	② 聴解	0～60
	③ 聴解	総合得点	0～180

N1、N2、N3の得点区分は①「言語知識(文字・語彙・文法)」②「読解」③「聴解」の3区分です。

N4、N5の得点区分は①「言語知識(文字・語彙・文法)・読解」と②「聴解」の2区分です。

*「尺度得点」とは受験者の日本語能力と得点をより公平に対応づけるため、共通の尺度(ものさし)に基づいて表示した得点です。

(4) 合否の判定

合格するためには①総合得点が合格に必要な点(=合格点)以上であること、②各得点区分の得点が区分ごとに設けられた合格に必要な点(=基準点)以上であること、の二つが必要です。一つでも基準点に達していない得点区分がある場合は、総合得点がどんなに高くても不合格になります。また、一つでも受験しない試験科目があると不合格となり、受験した科目も含めて全ての科目の点数がでません。

N1、N2、N3とN4、N5は、得点区分が異なります。各レベルの合格点及び基準点は下の表のとおりです。

レベル	総合得点		得点区分別得点					
	得点の範囲	合格点	言語知識 (文字・語彙・文法)		読 解		聴 解	
			得点の範囲	基準点	得点の範囲	基準点	得点の範囲	基準点
N1	0～180	100	0～60	19	0～60	19	0～60	19
N2	0～180	90	0～60	19	0～60	19	0～60	19
N3	0～180	95	0～60	19	0～60	19	0～60	19

レベル	総合得点		得点区分別得点			
	得点の範囲	合格点	言語知識(文字・語彙・文法)・読解		聴 解	
			得点の範囲	基準点	得点の範囲	基準点
N4	0～180	90	0～120	38	0～60	19
N5	0～180	80	0～120	38	0～60	19

(5) 結果の見かた

受験者には「認定結果及び成績に関する証明書」を発行します。下の例のように、①「得点区分別得点」と得点区分別の得点を合計した②「総合得点」、さらに3種類の③「参考情報」を通知します。③「参考情報」は合否判定の対象ではありません。詳細は以下の例を見てください。

2025年12月試験から、「参考情報」のひとつとして、「CEFRレベル」が追加されています。これは、合格者に対し、②総合得点(言語知識、読解、聴解)に対応するヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)※レベルを参考表示するものです。CEFRの「言語能力」と「受容活動能力」に対応する参考表示であり、「産出活動(話す・書く)」「やりとり」は含まれません。

詳しくはウェブサイト(https://www.jlpt.jp/about/cefr_reference.html)を見てください。

※ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR): 外国語の学習者、教授者及び評価者が、その熟達度を同一の基準で判断することができるように開発された枠組み。20年以上にわたる調査・研究に基づいて、2001年に欧州評議会が公開。

詳しくはウェブサイト(<https://www.coe.int/en/web/common-european-framework-reference-languages/home>)参照。

【例1】N1、N2、N3の「認定結果及び成績に関する証明書」の一部

得点区分別得点 ①			総合得点 ②
言語知識 (文字・語彙・文法)	読解	聴解	120/180
50/60	30/60	40/60	

参考情報 ③

正答率 ※1		パーセンタイル順位 ※2	CEFRレベル ※3
文字・語彙	文法	88.8	B1
A	B		

【例2】N4、N5の「認定結果及び成績に関する証明書」の一部

とくてん く ぶんべつとくてん 得点区分別得点 ①		そうごうとくてん 総合得点 ②
げん ご ちしき もじ ごい ぶんぽう どっかい 言語知識（文字・語彙・文法）・読解	ちうかい 聴解	120/180
80/120	40/60	

参考情報 ③

正答率 ※1			パーセンタイル順位 ※2	CEFRレベル ※3
文字・語彙	文法	読解	88.8	A1
A	B	A		

※1 分野ごとにそれぞれ「何問正答したか」を示します。

- A 正答率 67%以上
- B 正答率 34%以上 67%未満
- C 正答率 34%未満

※2 海外で受験した合格者(聴解免除を除く)には、その試験を含む過去6回の全受験者の中で、「あなたの得点に満たない受験者は全体の何パーセントを占めているか」を示します。

※3 「総合得点(言語知識、読解、聴解)」に対応するヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)レベルを参考表示します。

I . The Japanese-Language Proficiency Test

1. Objectives and Administration of the Test

(1) Objectives

The Japanese-Language Proficiency Test is held in Japan and abroad to evaluate and certify Japanese-language proficiency of non-native speakers.

(2) Administrative Organizations

The Japan Foundation works with local host institutions to administer the test outside Japan. (In Taiwan, the Japan Foundation and the Japan-Taiwan Exchange Association jointly administer the test.) It is administered by Japan Educational Exchanges and Services in Japan.

(3) Eligibility

Applicants should be, in principle, non-native speakers of Japanese.

2. Contents of the Test

(1) Test Sections and Test Times

The table below shows the sections of the test and the times allotted for each section.

Level	Test sections 〈Test time〉		
N1	Language Knowledge (Vocabulary/Grammar)&Reading 〈110 min.〉		Listening 〈55 min.〉
N2	Language Knowledge (Vocabulary/Grammar)&Reading 〈105 min.〉		Listening 〈50 min.〉
N3	Language Knowledge (Vocabulary) 〈30 min.〉	Language Knowledge (Grammar)& Reading 〈70 min.〉	Listening 〈40 min.〉
N4	Language Knowledge (Vocabulary) 〈25 min.〉	Language Knowledge (Grammar)& Reading 〈55 min.〉	Listening 〈35 min.〉
N5	Language Knowledge (Vocabulary) 〈20 min.〉	Language Knowledge (Grammar)& Reading 〈40 min.〉	Listening 〈30 min.〉

Levels **N1** and **N2** have TWO test sections each: (1) Language Knowledge (Vocabulary/ Grammar) & Reading; and (2) Listening. Levels **N3**, **N4**, and **N5** have THREE test sections each: (1) Language Knowledge (Vocabulary); (2) Language Knowledge (Grammar) & Reading; and (3) Listening.

Sample questions of the test are available on the JLPT website at <https://www.jlpt.jp/e/>.

NOTE: Since the July 2025 test, the use of mobile phones (and all other devices with photographing and communicating functions, etc.) is not permitted until the end of the test, including during breaks. The detailed policies are on “2. Misconduct,” p.19 of this test guide. Do not bring any electronic devices unrelated to the test into the test Center.

Starting from the July 2026 test, if you arrive after the Check-in time or the designated start time of each subject, you will not be permitted to take the subject.

To avoid this, please ensure that you enter the test room on time.

(2) A Summary of Linguistic Competence Required for Each Level

The table below shows the summary of the linguistic competence required for each level. This table outlines what is expected of examinees for each level in terms of Reading and Listening. The linguistic knowledge needed to execute the behaviors described will be required by the examinees to pass their respective levels.

Level	A Summary of Linguistic Competence Required for Each Level
N1	The ability to understand Japanese used in a variety of circumstances. [Reading] - One is able to read writings with logical complexity and/or abstract writings on a variety of topics, such as newspaper editorials and critiques, and comprehend both their structures and contents. - One is also able to read written materials with profound contents on various topics and follow their narratives as well as understand the intent of the writers comprehensively. [Listening] - One is able to comprehend orally presented materials such as coherent conversations, news reports, and lectures, spoken at natural speed in a broad variety of settings, and is able to follow their ideas and comprehend their contents comprehensively. One is also able to understand the details of the presented materials such as the relationships among the people involved, the logical structures, and the essential points.
N2	The ability to understand Japanese used in everyday situations, and in a variety of circumstances to a certain degree. [Reading] - One is able to read materials written clearly on a variety of topics, such as articles and commentaries in newspapers and magazines as well as simple critiques, and comprehend their contents. - One is also able to read written materials on general topics and follow their narratives as well as understand the intent of the writers. [Listening] - One is able to comprehend orally presented materials such as coherent conversations and news reports, spoken at nearly natural speed in everyday situations as well as in a variety of settings, and is able to follow their ideas and comprehend their contents. One is also able to understand the relationships among the people involved and the essential points of the presented materials.
N3	The ability to understand Japanese used in everyday situations to a certain degree. [Reading] - One is able to read and understand written materials with specific contents concerning everyday topics. - One is also able to grasp summary information such as newspaper headlines. - In addition, one is also able to read slightly difficult writings encountered in everyday situations and understand the main points of the content if some alternative phrases are available to aid one's understanding. [Listening] - One is able to listen and comprehend coherent conversations in everyday situations, spoken at near-natural speed, and is generally able to follow their contents as well as grasp the relationships among the people involved.
N4	The ability to understand basic Japanese. [Reading] - One is able to read and understand passages on familiar daily topics written in basic vocabulary and <i>kanji</i>. [Listening] - One is able to listen and comprehend conversations encountered in daily life and generally follow their contents, provided that they are spoken slowly.
N5	The ability to understand some basic Japanese. [Reading] - One is able to read and understand typical expressions and sentences written in <i>hiragana</i>, <i>katakana</i>, and basic <i>kanji</i>. [Listening] - One is able to listen and comprehend conversations about topics regularly encountered in daily life and classroom situations, and is able to pick up necessary information from short conversations spoken slowly.

(3) Test Sections and Scoring Sections

The table below shows the scoring sections and score range. Please note that the test sections and scoring sections are different. Scores displayed are scaled scores.*

Level	Test Sections	Scoring Sections	Range of Scores
N1	①Language Knowledge(Vocabulary/Grammar) & Reading	① Language Knowledge (Vocabulary/Grammar)	0~60
N2	②Listening	② Reading	0~60
		③ Listening	0~60
		Total Score	0~180
N3	① Language Knowledge (Vocabulary)	① Language Knowledge (Vocabulary/Grammar)	0~60
	② Language Knowledge (Grammar)&Reading	② Reading	0~60
	③ Listening	③ Listening	0~60
		Total Score	0~180
N4	① Language Knowledge (Vocabulary)	① Language Knowledge (Vocabulary/Grammar)& Reading	0~120
N5	② Language Knowledge (Grammar)&Reading	② Listening	0~60
	③ Listening	Total Score	0~180

Levels **N1**, **N2**, and **N3** have THREE scoring sections each: ① Language Knowledge (Vocabulary/Grammar) , ②Reading and ③Listening. Levels **N4** and **N5** have TWO scoring sections each: ①Language Knowledge (Vocabulary/Grammar) & Reading and ②Listening.

*Scaled score introduced with the current JLPT is based on a common score scale and show a more equitable correspondence between the examinee's Japanese language ability and his or her score.

(4) Pass or Fail

To pass, (1) **the total score must be at or above the passing score (overall pass mark)** and (2) **the score for each section must be at or above the passing score for that section (sectional pass mark)**. If the score for one scoring section is below the sectional pass mark, the examinee fails, no matter how high the total score might be. Furthermore, **if there are sections which an examinee does not sit for, no points will be given for the entire test, including any sections which the examinee completes. A failing mark will be given to the examinee.**

Scoring sections of Levels **N1**, **N2** and **N3** and Levels **N4** and **N5** are different. Overall pass marks and sectional pass marks for each level are shown in the table below.

Level	Total Score		Scores by Scoring Section					
	Range of scores	Overall pass marks	Language Knowledge (Vocabulary/Grammar)		Reading		Listening	
			Range of scores	Sectional pass marks	Range of scores	Sectional pass marks	Range of scores	Sectional pass marks
N1	0~180	100	0~60	19	0~60	19	0~60	19
N2	0~180	90	0~60	19	0~60	19	0~60	19
N3	0~180	95	0~60	19	0~60	19	0~60	19

Level	Total Score		Scores by Scoring Section			
	Range of scores	Overall pass marks	Language Knowledge (Vocabulary/Grammar)&Reading		Listening	
			Range of scores	Sectional pass marks	Range of scores	Sectional pass marks
N4	0~180	90	0~120	38	0~60	19
N5	0~180	80	0~120	38	0~60	19

(5) Understanding JLPT Certificates

Examinees will receive a "Certificate of Result and Scores." As in the sample below, the Certificate of Result and Scores will show ① scores for each section, ② the total score and ③ reference information. The ③ reference information is NOT intended to determine pass or fail. See the example below for details.

Starting with the test in 2025 (December), the CEFR Level is shown as one type of the "reference information". This is an indicator of the Common European Framework of Reference for Languages (CEFR) * level, corresponding to ② the total score (language knowledge, reading, listening), only shown for those who have passed the test. This is a reference indication corresponding to "Linguistic" and "Reception" in the CEFR and does not include "Production (speaking and writing)" and "Interaction." For more details, see the website at https://www.jlpt.jp/e/about/cefr_reference.html.

* Common European Framework of Reference for Languages (CEFR): A guideline developed allowing learners, teachers and assessors of foreign languages to determine foreign language proficiency using the same criteria. Published by the Council of Europe in 2001, based on over 20 years of research and study. For more details, see the website at <https://www.coe.int/en/web/common-european-framework-reference-languages/home>.

[Sample 1] A sample of test results for N1, N2 and N3

Scores by scoring section①			Total score ②
Language Knowledge(Vocabulary/Grammar)	Reading	Listening	120/180
50/60	30/60	40/60	

Reference Information③			
Percentage of correct responses*1		Percentile Rank*2	CEFR level *3 (Linguistic, Reception)
Vocabulary	Grammar	88.8	B1
A	B		

[Sample 2] A sample of test results for N4 and N5

Scores by scoring section①		Total score②
Language Knowledge(Vocabulary/Grammar) & Reading	Listening	120/180
80/120	40/60	

Reference Information③

Percentage of correct responses*1			Percentile Rank*2	CEFR level *3 (Linguistic, Reception)
Vocabulary	Grammar	Reading		
A	B	A		

88.8

A1

*1 Indicates "percentage of correct responses" in each category.

A Percentage of correct responses is 67% or higher

B Percentage of correct responses is between 34% and 66%

C Percentage of correct responses is less than 34%

*2 Indicates the percentage of examinees with a score lower than yours in the six latest tests, including the one you took, on the Certificate of Result and Scores of examinees who passed the test overseas (excluding those who were exempt from the Listening section).

*3 The Common European Framework of Reference for Languages (CEFR) level, corresponding to the total score (language knowledge, reading, listening) will be indicated for reference.

ねん がつ に ほん ご のうりよく し けん Ⅱ. 2026年7月日本語能力試験について

じゅけん て つづ 1. 受験手続き

じゅけん て つづ ほうほう (1) 受験手続きの方法

じゅけん き ぼうしや じゅけん ち し けんじつ し き かん じゅけんもう こ て つづ ほうほう じゅけんりよう きんがく かくにん
受験希望者は、あなたの受験地の試験実施機関に、受験申し込みの手続き方法と受験料の金額を確認
してください。支払い方法についても試験実施機関の指示に従ってください。受験地と試験実施機関の
リストは、日本語能力試験公式ウェブサイト(<https://www.jlpt.jp/>)で見ることができます。

- ① 願書受付期間 あなたの受験地の試験実施機関により指定されます。
- ② 応募者への受験票の交付 あなたの受験番号が書かれた受験票をあなたの受験地の試験実施機関より交付します。
- ③ 試験日時 2026年7月5日(日曜日)。集合時間は、受験票交付の際に通知します。
- ④ 試験会場 受験票交付の際に通知します。
- ⑤ 注意事項
 - いったん納入された受験料は返還しません。
 - 原則として願書提出後の受験地および受験レベルの変更は認められません。
 - 試験の公正かつ円滑な実施のため、受験願書の不備、受験料の未納付等、受験手続に不備がある場合、受験願書の記載内容が事実と相違することが判明した場合、その他試験実施機関が別に定める規則に違反した場合には、受験願書を受理しないことがあります。また、一旦受験願書を受理した後でも、こうした事実が判明した場合には、受験の受付を取り消すことがあります。
 - 都合によりあなた自身が申請できない場合は、あなたのご家族やご友人などの代理人があなたの名前であなたに代わって申請することもできます。ただし代理人による申請に不手際があっても願書提出後の記載事項の変更は認められません。
 - 受験票は、試験実施機関から原則として願書受付期間終了後2週間以内に届きます。2週間以上経っても届かない場合は、あなたの受験地の試験実施機関に連絡してください。
 - 原則として受験料は返還しませんが、自然災害や公共交通機関のストライキなどの不可抗力により試験が実施されなかった場合は、受験料の返還を請求することができます。詳細については、試験実施機関に確認してください。ただし、試験の中止に伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
 - 本受験案内を読み理解し、同意した上で受験申し込みを行って下さい。
 - よくあるご質問については、日本語能力試験公式ウェブサイトの「よくある質問」(<https://www.jlpt.jp/faq/index.html>)を確認してください。

じゅけん じょう はいりょ (2) 受験上の配慮について

びょうき しょうがいどう つうじょう じゅけんほうほう じゅけん むずか かた たい い か じゅけん
病気やケガや障害等によって通常の受験方法では受験が難しい方に対し、以下のような受験のための特別な配慮を行っています。

- ① 特別形式の問題(例:点字問題、拡大文字問題)
- ② 特別な解答方法(例:点字解答、解答の直接記入)
- ③ 試験時間の延長
- ④ 別室での受験
- ⑤ 補助器具の使用(拡大鏡、補聴器、ヘッドフォン等)
- ⑥ その他、国際交流基金が適当と認めた措置

とくべつ はいりょ ひつよう ばあい じゅけん ち し けんじつ し き かん れんらく じゅけんじょう はいりょしんせいしよ
特別な配慮が必要な場合には、あなたの受験地の試験実施機関に連絡し、『受験上の配慮申請書』を
取り寄せて記入してください。添付資料として医師の診断書等が必要です。また、願書の右上の欄に
「✓」を記入の上、願書、『受験上の配慮申請書』、診断書をあなたの受験地の試験実施機関が指定す
る期日までに提出してください。専門家と協議し、申込者から提出書類をもとに配慮内容を決定します
が、申込者の希望に沿えない場合もあります。

2. 不正行為

(1) 不正行為の種類

次のことを行おうとしたり、実際に行った場合、不正行為となります。

なお、2025年7月試験より、受験者入室完了時から聴解試験が終了し退室するまで、携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ及び全ての電子機器類の使用を一切禁じます。試験中および休憩時間に電子機器類に触れていた、使用していた、または面会者（父兄など）が利用している電子機器類を見ていた受験生は不正行為者となります。また電子機器類をOFFにせず、呼び出し、アラームやマナーモードの音が鳴ってしまった場合も、持ち主である受験者は不正行為者となります。やむを得ず休憩時間中に携帯電話等を使用しなければならない時には、必ず各会場本部の責任者の許可を得て、指定の場所で使用してください。

- ① 試験時間終了まであなたの携帯電話等が電源OFFでなかったとき
例1: 試験中にあなたの携帯電話の呼び出し音（マナーモードの振動音も含む）・アラーム、または時計（スマートウォッチを含む）のアラーム音が鳴ったとき
例2: 休憩時間中にあなたの携帯電話等の電子機器の電源をONにしたとき
- ② あなたが試験中に他の人に答えを教えたり、他の人から教わったとき、辞書、教科書、参考書、カンニングペーパー、イヤホン、携帯電話やスマートウォッチ等すべてのカメラ・通信機能を有する機器を使用したり、事前にその内容を机や筆記用具に書き込むなどの行為を行ったとき
- ③ あなたが別の人の代理として受験したり、別の人があなたの代理で受験したとき、また、不正IDの使用などで本人確認ができないとき
- ④ あなたが試験監督員の指示に従わなかったとき
- ⑤ あなたが試験教室から問題用紙・解答用紙を持ち出したとき、また問題用紙・解答用紙を写真にとったり、試験の内容や解答を書き写したり、録音したりして持ち出したとき
- ⑥ あなたが他の受験者の迷惑になるような行為をしたとき
- ⑦ あなたが問題用紙の内容・解答や問題用紙・解答用紙の写真、聴解試験の音声などを、インターネットやその他の方法で公開したり、それらを利用したとき（試験終了後の不正行為を含む）
- ⑧ あなたが上記②③⑤⑥⑦の行為に協力したとき

(2) 留意事項

国際交流基金が実施する試験において、過去に悪質な不正行為を行ったり、試験への損害を与えたりしたことがあると判断した場合には、今回の試験の受験を認めないことがあります。

試験中の不正行為については試験監督員が受験の中止と試験会場からの退去を命じ、それ以後の受験はできなくなります。これらの不正行為を行った場合（試験終了後、過去に悪質な不正行為を行ったり、試験への損害を与えたりしたことがあると判断した場合を含む）、または何らかの理由により、国際交流基金が得点の正当性に疑問があると判断した場合、試験成績を無効（過去に受験したものを含む。）とする、試験結果を通知しない、将来にわたり日本語能力試験を受験することを禁止する、組織内の関係する部署に当該情報を共有するという対応を取る権利を有します。不正行為の内容が悪質である場合や著しい試験への損害が認められた場合には、法的な措置を取る可能性があります。

なお、成績を無効にした場合において、企業・学校・団体等から成績に関する照会があったときは、当該成績が無効である旨を当該企業・学校・団体等に通知します。

国際交流基金は、今回の受験を認めないこと、受験者の得点を通知しないこと、得点を取り消すこと、あるいは将来受験することを禁止することにより、受験者が被る被害や、どんな種類のクレームに対しても責任を持たないものとします。

3. 試験当日の持ち物

試験当日は、受験票、筆記用具（黒の鉛筆〈No.2、HB、Bまたは2B〉、プラスチック消しゴム）および写真入りの身分証明書（パスポート、運転免許証、試験実施機関が指定した身分証明書等）を持参してください。身分証明書を忘れた場合には受験することができません。スマートウォッチは時計として使用できません。電子機器類（携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ、PC、タブレット端末、イヤホン、ウェアラブル端末、音楽プレーヤー、ICレコーダー等、通信機能やカメラ機能を含むすべてのもの）の使用は試験終了まで禁止のため、できる限り持ってこないようにしてください。

4. 試験の結果

2025年12月試験から、「認定結果及び成績に関する証明書」及びオンライン結果通知において、総合得点に対応するヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)レベルが参考表示されています。

(1) 試験結果通知書類

受験者全員に「認定結果及び成績に関する証明書」、さらに各レベルの合格者には「日本語能力認定書」が、2026年10月上旬頃までにあなたの受験地の試験実施機関を通じて交付されます。

もし、10月下旬になっても交付がない場合には、試験実施機関に連絡してください。

なお、試験結果の通知（受け渡し方法を含む）に関しては、国際交流基金ではなく、すべてあなたの受験地の試験実施機関に問い合わせをしてください。また成績に関する問い合わせには一切答えられません。

受け取った「認定結果及び成績に関する証明書」および「日本語能力認定書」に記載されている氏名、生年月日等に誤りがある場合、試験実施の日から1年以内であれば訂正して再発行します（ただし、試験実施の日より後に行った改名等による訂正は、受け付けられません。また、実施機関により条件が異なりますので、受験した都市の実施機関にご確認ください）。その際、以下の書類を提示の上試験実施機関に請求してください。

- ① 受験票控、もしくは受験願書B
- ② 写真入りの身分証明書（受験申し込みで使ったもの）
- ③ 「認定書及び成績に関する証明書」、「日本語能力試験認定書」の原本

なお、氏名の表記についてはコンピュータシステムの仕様上、英語アルファベット及びP.21の「使用できる記号」しか使うことができません。

(2) オンライン結果通知

あなたの試験結果は2026年8月末頃までに、日本語能力試験公式ウェブサイト(<https://www.jlpt.jp/>)で確認することができます。

インターネット上で試験結果を見るためには受験番号と暗証番号が必要ですので、受験願書㊥（応募者用）を控えとして大切に保管してください。なお、受験願書に数字8桁の暗証番号を正しく記入しなかった場合は、インターネット上で試験結果を見ることはできません。

(3) 「認定結果及び成績に関する証明書」の複製発行（有料）

学校や会社に提出するための公的な証明書として、「認定結果及び成績に関する証明書」の複製発行を希望する場合には、日本語能力試験公式ウェブサイト(<https://www.jlpt.jp/>)から申請してください（韓国・台湾を除く）。なお、2025年7月試験以前の受験者にはCEFRレベルは参考表示されません。

詳細はウェブサイトをご覧ください。

(4) 試験結果通知書類の真偽確認について

日本の出入国在留管理庁、大学等教育機関、企業等から、適正な理由で、「日本語能力認定書」「認定結果及び成績に関する証明書」に関する内容の真偽もしくは出欠に関する問い合わせがあった場合、主催者はこれに回答することがあります。

II. The Japanese-Language Proficiency Test in 2026(July)

1. How to Apply

(1) Application Procedure

Please contact the local host institution in the area where you wish to take the test for information about the application procedure, test fee and methods of payment. A list of test sites and local host institutions is available on the JLPT website at <https://www.jlpt.jp/e/>.

① **Application Period**

To be determined by the local host institution.

② **Distribution of Test Vouchers to Applicants**

Your Test Voucher with your registration number will be distributed by your local host institution.

③ **Test Date and Time**

July 5, 2026 (Sunday). Examinees will be notified on the Test Voucher regarding the time for assembling.

④ **Test Center**

To be announced on the Test Voucher.

⑤ **NOTE**

- **The test fee is non refundable.**
- **In principle, you will not be permitted to change your test site or test level after the Application Form has been submitted to the local host institution.**
- If your application materials are not complete, due to such as some omission in your Application Form or incomplete payment of the test fee, or if the statement in your Application Form are proven to be untrue, or if you violate rules prescribed by the local host institutions, your Application Form may not be accepted by the Japan Foundation/the local host institutions in order to insure fair and smooth test operation. Your application may be cancelled if one or more of those situations come to light, even after your Application Form has been accepted.
- If you are not able to submit your Application Form in person, submission by a representative, such as a family member or friend, is permitted. Please note, however, that any mistakes on the Application Form presented by your representative may not be amended.
- Generally, examinees will receive their Test Vouchers from the local host institution within two weeks after the application period ends. If your Test Voucher does not arrive within those two weeks, please contact the local host institution.
- Notwithstanding the above, examinees may apply to have their test fees refunded if the test is not available due to force majeure (such as natural disaster or strike by public transportation workers). In such instances, the examinees should contact their local host institution for further details. Please note that, in any event, the Japan Foundation is unable to bear responsibility for compensating examinees for their inconvenience or for refunding expenses or other damages incurred.
- Please apply for the test after thoroughly reading, understanding and agreeing to the conditions printed in this Test Guide.
- Please refer to FAQ page on the JLPT website at <https://www.jlpt.jp/e/faq/index.html> for frequently-asked questions.

(2) About Special Testing Accommodations (STA)

For Applicants who may have difficulty taking the test because of a certain illness, injury, physical disability or other impairments/conditions, we offer the following accommodations:

- ① Special question booklets (Braille and enlarged print question booklets)
- ② Alternative answering methods (Braille and writing answers directly on question booklets)
- ③ Extended testing time
- ④ Testing in a separate room
- ⑤ Use of necessary equipment (magnifying glass, hearing aids, headphones, etc.)
- ⑥ Other accommodations that the Japan Foundation deems suitable

If you wish to apply for STA, please contact your local host institution for a “Request Form for Special Testing Accommodations.” Applicants are also required to submit a medical certificate or other relevant documentation. Please make sure to fill in the checkbox in the upper right corner on your Application Form. Submit the completed Request Form along with your Application Form by the deadline set by your local host institution. The content of the STA will be reviewed and finalized in consultation with specialists, based on the documents submitted by the applicant. However, please note that some request-accommodations may not be granted.

2 . Misconduct

(1)List of Misconduct

Your action or attempted action will be considered misconduct if:

- ① your mobile phones and other devices (including smartwatches and all camera and communicating devices) were NOT OFF until the end of the test time:
Example 1: A mobile phone or watch alarm (including smartwatches) sounds or vibrates during the test;
Example 2: When the power is turned ON during a break time;
- ② you provide others with answers; obtains answers from other examinees; use a dictionary, textbook, reference book, crib sheet, earphone, mobile phone, or any other devices with camera and communicating functions, write answers in advance on their desk or writing equipment;
- ③ you are found to be taking the test for someone else, or to have asked someone to take the test on yourself, or your identity could not be verified due to the use of a fraudulent ID or other such reason;
- ④ you fail to follow the proctor's instructions;
- ⑤ you take the question booklets and/or answer sheets outside the test room, take photos of the question booklets and/or answer sheets, or take the contents of the question booklets and/or answer sheets outside the test room by copying them or recording them;
- ⑥ you disturb other examinees in any way;
- ⑦ you share the test contents and answers, photos of the question booklets and/or answer sheets, or audio content of the listening test via the Internet or any other means of communication with any third party, and vice versa (including after the test);
- ⑧ you cooperate with someone committing misconduct ②, ③, ⑤, ⑥ or ⑦.

As mentioned in above ①, from the designated time for examinees entry into test rooms until the listening section has ended and all examinees have exited the room, the use of any electronic devices is strictly prohibited.

Any examinee who touches or uses electronic devices during the test or break time will be considered to have committed misconduct. Especially in the case of young examinees, even actions such as looking at electronic devices used by visitors (such as parents) during the break time will be regarded as misconduct, so please be cautious.

Additionally, if electronic devices are not turned off and calls, alarms, or notification sounds go off, the applicant who owns the device will be considered as committing misconduct.

If there is an urgent need to use a mobile phone, please obtain permission from the person in charge at the test site head office and use them at designated areas.

(2)Important Notice

In all tests organized by the Japan Foundation, if any malicious misconduct therein or serious damages to test administration is found to be attributable to you, you may be liable for ejection from the current test.

If you commit any kind of misconduct during the test, the proctor will order you to stop the test and leave the test site. You will not be able to take the rest of the test. If you commit any of these types of misconduct (this includes cases where, after the test, we find previous malicious misconduct and/or serious damages to the test in the past) or if the Japan Foundation determines for any reason that there are questions about the propriety of your score, the Japan Foundation has the right to invalidate your test results (including those from past tests), refuse to notify you of your test result, and ban you from taking future Japanese-Language Proficiency Tests, and share this information with other relevant departments within the Japan Foundation. Furthermore, if the misconduct is malicious and/or if serious damage to the test is recognized, legal action may be taken.

If there is an inquiry about your performance from a company, school, organization or other entity when your test results have been invalidated, the Japan Foundation will notify these entities that your results are null and void.

The Japan Foundation will not be responsible for any damages suffered by the examinee nor any other type of claim made as a result of disallowing you from taking this particular test, not notifying of your score, having your score invalidated, or prohibiting you from taking the test in the future.

3 . What to Bring on Test Day

You may only bring the **Test Voucher, writing utensils (medium-soft <No.2, HB, B or 2B> blacklead pencils and a plastic eraser)** and **photo identification such as a passport, driver's license, or other official identification specified by the local host institution.** You will not be allowed to take the test if you forget to bring your photo identification to the test site. Smartwatches can not be used as a watch. As all electronic devices (mobile phones, smartphones, smartwatches, personal computers, tablet devices, earphones, wearable devices, music players, IC recorders, etc. that have communication functions allowing data exchange with other devices via wireless or wired connections) cannot be used until the test is over, take note to refrain from bringing these items to the test site.

4 . Test Results

Starting with the test in 2025 (December), the Common European Framework of Reference for Languages (CEFR) level, corresponding to the total score, is indicated for reference in the “Certificate of Result and Scores” and in the online test results announcement.

(1)Certificates

All examinees will be issued a “Certificate of Result and Scores” through their local host institution at which they took the test by early October, 2026. Those examinees who successfully pass each level will also be issued a “Certificate of Japanese-Language Proficiency.” If you have not been issued your certificate by the end of October, please contact **your local host institution.**

Please direct all inquiries about notification of test results (including how they are delivered) to the **local host institution** where you took the test, instead of the Japan Foundation. **Neither the Japan Foundation nor the local host institutions will be able to respond to any inquiries regarding test scores.**

“Certificate of Result and Scores” and “Certificate of Japanese-Language Proficiency” with errors (eg. Name, date of birth) will be corrected and re-issued only if they are reported within a year from the test date. Request for correction due to the change of your name caused after the test date will NOT be accepted. The conditions for correction and reissuance depend on each local host institution. Examinee should contact local host institution and present following documents.

- ① Test Voucher or Application Form B
- ② Photo identification used for the application of the test
- ③ Original “Certificate of Result and Scores” and “Certificate of Japanese-Language Proficiency” (if issued)

Please note that names can only be indicated in English characters and certain “marks you can use” on p.21 due to technical limitation.

(2)Online Test Results Announcement

Test results will be available on the JLPT website at <https://www.jlpt.jp/e/> by around the end of August 2026. **Your registration number and passcode are required to check your test result online, so be sure to keep your copy of Application Form ㊥ (For the applicant).** Please note that you will not be able to see your test result online if you have failed to correctly write an 8-digit passcode (numbers only) on the application form.

(3) Duplication of “Certificate of Result and Scores” (Fee is charged)

The Japan Foundation can reissue a “Certificate of Result and Scores,” which is an official certificate for submission to schools or companies. If you wish to receive duplications of this certificate, please apply online from the JLPT website at **<https://www.jlpt.jp/e/>** (excluding Korea and Taiwan). Please note that the CEFR level will not be indicated as a reference for tests taken before the July 2025 test.

For more information, please see the JLPT website.

(4) Genuineness of Test Results

In cases when the Immigration Services Agency of Japan, a university or other educational institution, or business enterprise makes an inquiry, with some proper reason, on whether an examinee’s “Certificate of Japanese-Language Proficiency” or “Certificate of Result and Scores” is genuine, or their attendance, the Japan Foundation may confirm validity and report the results to the inquirer.

5. 受験願書・受験票の記入方法

How to Fill in the Application Form and Test Voucher

※太枠内のみ活字体で記入し、提出してください。

※あなたが受験願書[A]に記入したものが、受験票に複写されますので、必ずボールペンで力強く書いてください。

※数字およびアルファベットは、例を参考に、わかりやすく書いてください。

* Fill in the information required in the boxed areas of the Application Form, and submit them to the local host institution.

* Information is duplicated from Application Form [A] onto the Test Voucher, so **use a ballpoint pen and apply pressure when writing.**

* Clearly write numbers and alphabet according to the samples.

① 受験レベル Test Level

受験を希望するレベルを数字で記入してください（試験内容は7ページを参照のこと）。

In box ①, write the number indicating the level of the test you are going to take.

(See “Contents of the Test” on page 11.)

② 受験地 Test Site

受験を予定している都市名を記入してください。

In box ②, write the name of the city where you are going to take the test.

③ 名前 Name

以下のアルファベット例や次のページの記入例を参考にして、ひとまずずつ、アルファベットの太文字でわかりやすく書いてください。コンピュータ入力システムの関係上、英字26文字と次の記号のみを使ってください。

使用できる記号

, (カンマ) ' (シングルクォーテーション) . (ピリオド) - (ハイフン) / (スラッシュ)

@ (アットマーク) () (カッコ)

特殊文字など（öやäなど）は使用できません。また、名、ミドルネーム、姓のあいだはひとまずあけてください。この欄に書かれた通りに「認定結果及び成績に関する証明書」および「日本語能力認定書」にあなたの名前が記載されますので、間違いのないように書いてください（姓と名の順序は、あなたの国の習慣に従ってください）。

In box ③, clearly write your name in English capital letters, following the samples below and on the next page. **Please use 26 English characters and the following marks only due to computer data entry system.**

Marks you can use

, (comma) ' (single quotation) . (period) - (hyphen) / (slash) @ (at mark) () (brackets)

You can not special characters (e.g. ö (umlaut) , ä etc.) . Leave one box blank between your given name, middle name, and family name. Make sure your name is written correctly and clearly, because it will be printed on the “Certificate of Result and Scores” and “Certificate of Japanese -Language Proficiency” as written there. (Write your first, middle, and family names in the order you normally follow.)

【使用できるアルファベット一覧 26 English characters you can use】

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z

【よくない字の例 Incorrect Examples】

ⓧ → D	ⓧ → L	ⓧ → G
ⓧ → M	ⓧ → N	ⓧ → ö

【^{なまえ}名前の記入例 ^{きにゅうれい}Example】

Lucy Maria Boston さんの場合

【よい書き方 ^か ^{かた} Correct Example】

③	LUCY MARIA BOSTON
名前 Name	

【よくない^か書き方^{かた} Incorrect Example】

[illegible]

は^かっきりと書いてください。
Write clearly.

ひとまずあけてください。
Leave one space between names.

【よくない書き方 ^か_{かた} Incorrect Example】

[illegible]

さいしょめ
最初のまず目をあけてはいけません。
Do not leave space at the beginning.

UとV、OとD、LとI、TとIなどまぎらわしい文字はとくに注意してください。
Make clear distinctions between “U” and “V”, “O” and “D”, “L” and “I”, or “T” and “I”, and other similar-looking letters.

ちゅう い
【注意 Note】

名前が41文字以上の場合には、イニシャルを使用するなどしてこの欄におさまるように書いてください。この場合も必ず名とミドルネームと姓のあいだはひとまずあけてください。

If your name is over 40 letters long, try shortening your name by using initials. In any case, you must leave one space between given name, middle name, and family name.

Maria Charlotte Oranienburg von Hohenstauffen^{ばあい}さんの場合

【よい^か書き方^{かた} Correct Example】

③ 名前 Name	MARIA C. ORANIENBURG VON HOHENSTAUFFEN
-----------------	--

【よくない^か書き方^{かた} Incorrect Example】

③ 名前 Name MARIA CHARLOTTE ORANIENBURG VON HOHENSTAUFFEN

わく
枠からはみ^だ出してはいけません。

【よくない^か書き方^{かた} Incorrect Example】

③ 名前 Name

M	A	R	I	A	C	H	A	R	L	O	T	T	E	O	R	A	N	I	E	N	B	U	R	G	V	O	N	H	O	H	E	N	S	T	A	U	F	F	E	N	
		↑										↑										↑										↑									

名、ミドルネーム、姓のあいだにはスペースをとってください。
Leave one space between names.

④ ^{せいべつ}性別 Gender

がいとう
該当するものに、しるしをつけてください。

In box ④, check “Male” , “Female” or “N/A”.

⑤ 生年月日 Date of Birth

あなたの生年月日を年、月、日の順番で書いてください。

Write the numbers of the year, month, and date of your birth.

【例】あなたが女性で、生年月日が1985年8月17日の場合には、次のように書いてください。

【Example】 If you are a female and your date of birth is August 17, 1985, write :

④	性別 Gender	男 Male	1	女 Female	2	回答なし N/A	3	⑤	生年月日 Date of Birth	年 Year	1	9	8	5	月 Month	0	8	日 Day	1	7
---	--------------	-----------	---	-------------	---	-------------	---	---	-----------------------	-----------	---	---	---	---	------------	---	---	----------	---	---

【数字例 Example】

1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---

0も書いてください。
Write "0" for single-digit months.

⑥ オンライン結果通知用暗証番号 8-digit passcode for Online Test Results Announcement

自分で数字8桁の暗証番号を決めて記入してください。文字は使用できませんので、1から9までの数字のみを使ってください。

Please decide on an 8-digit passcode and write it down. **Be sure to use only numbers from 1 to 9, not letters.**

【注意 Note】

あなたの試験結果は2026年8月末頃までに、日本語能力試験公式ウェブサイト(<https://www.jlpt.jp/>)で確認することができます。インターネット上で結果を見るためには、数字8桁の暗証番号が必要です。暗証番号の控えとして、受験願書[C](応募者用)を大切に保管してください。次のような場合は暗証番号は設定されず、インターネットで試験結果を見ることはできませんので、気をつけてください。

- (1) 記入した数字が8桁未満の場合
- (2) 文字を含んでいた場合
- (3) 暗証番号欄に何も記入しなかった場合
- (4) 数字を下の「よい書き方」のようにはっきりと書かなかった場合(「1と7」、「4と9」などに注意)

Online Test Results Announcement will be available on the JLPT website at <https://www.jlpt.jp/e/> by around the end of August 2026. An 8-digit passcode(numbers only)is required to see your test result online. Please be sure to keep your copy of Application Form [C] (For the applicant) so as not to forget your passcode.

Please note that:

- (1) if you wrote 7 digits or less numbers,
 - (2) if you wrote letters in the column,
 - (3) if you did not write anything in the column, or
 - (4) if you did not clearly write numbers (pay attention to "1 and 7" and "4 and 9" etc.) as listed in "Correct Example" below,
- a passcode will not be set up for you, and you will not be able to see your test result online.

【よい書き方 Correct Example】

1	3	4	8	9	2	6	4
---	---	---	---	---	---	---	---

1～9の数字を8桁書いてください。同じ数字を使ってもいいです。
Use numbers 1 to 9. You may use the same number.

【よくない書き方 Incorrect Example】

				3	2	1	4
--	--	--	--	---	---	---	---

8桁全て書いてください。
Fill in all 8 digits.

A	3	8	B	5	m	3	2
---	---	---	---	---	---	---	---

文字は使わないでください。
Do not use letters.

⑦ 母語 Native Language

あなたの母語を次の表から選び、その番号を書いてください。表の中にないときには000と記入してください。また母語が二つ以上ある人は、一つだけ記入してください。

Choose the appropriate **code number** from the list of “NATIVE LANGUAGE CODES” and write it in the boxes. If your native language is not on the list, enter 000 in the boxes. If you have two or more native languages, select only one.

母語コード表 NATIVE LANGUAGE CODES

番号 CODE	母語 NATIVE LANGUAGE	番号 CODE	母語 NATIVE LANGUAGE
	ASIA アジア地域		EUROPE ヨーロッパ地域
101	Assamese (アッサム語)	409	Estonian (エストニア語)
102	Baluchi (バルチ語)	410	Finnish (フィンランド語)
103	Bengali (ベンガル語)	411	French (フランス語)
104	Bihari (ビハール語)	444	Galician (ガリシア語)
106	Cebuano (セブアノ語)	412	Georgian (ジョージア語)
107	Chinese (中国語)	413	German (ドイツ語)
143	Dhivehi (ディベヒ語)	414	Greek (ギリシャ語)
144	Dzongkha (ゾンカ語)	415	Hungarian (ハンガリー語)
408	English (英語)	416	Icelandic (アイスランド語)
411	French (フランス語)	434	Irish (アイルランド語)
108	Gujarati (グジャラト語)	417	Italian (イタリア語)
109	Hindi (ヒンディ語)	116	Kazakh (カザフ語)
110	Ilocano (イロカノ語)	437	Kirghiz (キルギス語)
111	Indonesian (インドネシア語)	418	Latvian (ラトビア語)
112	Japanese (日本語)	419	Lithuanian (リトアニア語)
113	Javanese (ジャワ語)	435	Luxembourgian (ルクセンブルグ語)
114	Kannada (Kanarese) (カナラ語)	420	Macedonian (マケドニア語)
115	Kashmiri (カシミール語)	421	Maltese (マルタ語)
118	Khmer (Kampuchean) (クメール語)	447	Moldovan (モルドバ語)
119	Korean (韓国・朝鮮語)	443	Montenegrin (モンテネグロ語)
120	Kurdish (クルド語)	422	Norwegian (ノルウェー語)
121	Lao (ラオス語)	423	Polish (ポーランド語)
122	Malay (マレー語)	424	Portuguese (ポルトガル語)
123	Malayalam (マラーヤラム語)	425	Romanian (ルーマニア語)
124	Marathi (マラーティー語)	436	Romansh (Rumauntsch) (ロマンシュ語)
125	Manipuri (Meeteilol) (マニプール語)	426	Russian (ロシア語)
117	Mongolian (モンゴル語)	427	Serbian (セルビア語)
105	Myanmar (ミャンマー語)	428	Slovak (スロバキア語)
126	Nepali (ネパール語)	429	Slovene (スロベニア語)
127	Oriya (オーリヤ語)	430	Spanish (スペイン語)
128	Pilipino (ピリピノ語)	431	Swedish (スウェーデン語)
129	Punjabi (パンジャブ語)	441	Tajik (タジク語)
130	Pushtu (パシュト語)	432	Turkish (トルコ語)
131	Rajasthani (ラージャスタニ語)	445	Turkmen (トルクメン語)
132	Sindhi (シンド語)	433	Ukrainian (ウクライナ語)
133	Sinhalese (シンハラ語)	438	Uzbek (ウズベク語)
134	Sundanese (スンダ語)		PACIFIC REGION 大洋州地域
135	Tamil (タミール語)	408	English (英語)
136	Tatar (タタール語)	501	Fijian (フィジー語)
137	Telugu (テルグ語)	411	French (フランス語)
145	Tetum (テトゥン語)	502	Marshallese (マーシャル諸島言語)
138	Thai (タイ語)	503	Palauan (パラオ語)
139	Tibetan (チベット語)	504	Pidgin (ビジン語)
140	Uighur (ウイグル語)	505	Ponapean (ポナペ語)
141	Urdu (ウルドゥー語)	506	Samoan (サモア語)
142	Vietnamese (ベトナム語)	507	Tahitian (タヒチ語)
		508	Tongan (トンガ語)
		509	Yapese (ヤップ語)
	AMERICA アメリカ地域		AFRICA アフリカ地域
201	Aymara (アイマラ語)	601	Afrikaans (アフリカーンス語)
407	Dutch (オランダ語)	602	Akan (アカン語)
408	English (英語)	603	Amharic (アムハラ語)
411	French (フランス語)	701	Arabic (アラビア語)
203	Guarani (グアラニー語)	629	Ashanti (アシャンテ語)
413	German (ドイツ語)	604	Bambara (バンバラ語)
424	Portuguese (ポルトガル語)	605	Bemba (ベンバ語)
202	Quechua (ケチュア語)	606	Berber (ベルベル語)
430	Spanish (スペイン語)	607	Chichewa (チチュワ語)
	EUROPE ヨーロッパ地域	608	Efik (エフィック語)
401	Armenian (アルメニア語)	408	English (英語)
440	Azerbaijani (アゼルバイジャン語)	609	Ewe (エウェ語)
402	Basque (Euskara) (バスク語)	411	French (フランス語)
446	Belarussian (ベラルーシ語)	610	Fulani (フルニ語)
442	Bosnian (ボスニア語)	611	Ga (ガー語)
403	Bulgarian (ブルガリア語)	612	Galla (ガラ語)
404	Catalan (カタロニア語)	613	Hausa (ハウサ語)
439	Croatian (クロアチア語)	614	Ibo (イボ語)
405	Czech (チェコ語)	631	Kikongo (キコンゴ語)
406	Danish (デンマーク語)	615	Kikuyu (キクユ語)
407	Dutch (オランダ語)		
408	English (英語)		

番号 CODE	母語 NATIVE LANGUAGE	番号 CODE	母語 NATIVE LANGUAGE
632	AFRICA アフリカ地域 Kinyarwanda (キニヤルワンダ語)	625	AFRICA アフリカ地域 Twi-Fante (トウィ・ファンティ語)
616	Kiswahili (スワヒリ語)	636	Uganda (ウガンダ語)
617	Lingala (リンガラ語)	626	Wolof (ウォロフ語)
618	Luba-Lulua (ルーバ語)	627	Yoruba (ヨルバ語)
619	Malagasy (マダガスカル語)	628	Zulu (ズールー語)
620	Malinke (Mandingo) (マリンケ語)	701	MIDDLE EAST 中近東地域 Arabic (アラビア語)
633	Matavele (マタベレ語)	401	Armenian (アルメニア語)
621	Mende (メンデ語)	408	English (英語)
424	Portuguese (ポルトガル語)	411	French (フランス語)
634	Sango (サンゴ語)	702	Hebrew (ヘブライ語)
622	Shona (ショナ語)	703	Persian (ペルシャ語)
623	Somali (ソマリ語)		
635	Sotho (ソト語)		
430	Spanish (スペイン語)		
624	Tigrinya (ティグリニア語)	000	OTHERS その他 Others (その他)

- ⑧ ^{にほんごがくしゅうきかんめい} **日本語学習機関名** Name of institution where you are studying (or studied) Japanese language
^{げんざい} 現在あなたが^{にほんごがくしゅう}日本語を学習している^{きかん}機関の名前、あるいはかつて^{がくしゅう}学習していた^{きかん}機関の名前を書いてください。

In the blank space, write the name of the institution where you are either currently studying Japanese language or where you have studied in the past.

- ⑨ ^{にほんごがくしゅうば} **日本語学習の場** Place where you are learning Japanese
^{もっとあ} あなたに最も当てはまるものを^{ひとつ}一つ選んで、^{きにゅう}□に記入してください。

Fill in the number of the **one item** that describes **where you are learning Japanese**.

- ^{げんざい} 現在、^{しょうがっこう} 小学校 (初等教育) で^{にほんご}日本語を^{まな}学んでいる
learning Japanese at elementary school (primary education)
- ^{げんざい} 現在、^{ちゅうがっこう} 中学校・^{こうこう} 高校 (中等教育) で^{にほんご}日本語を^{まな}学んでいる
learning Japanese at middle school or high school (secondary education)
- ^{げんざい} 現在、^{だいがく} 大学・^{だいがくいん} 大学院 (高等教育) の^{しゅせんこう}主専攻で^{にほんご}日本語を^{まな}学んでいる
majoring in Japanese at university or graduate school (higher education)
- ^{げんざい} 現在、^{だいがく} 大学・^{だいがくいん} 大学院 (高等教育) の^{しゅせんこう}主専攻以外で^{にほんご}日本語を^{まな}学んでいる
learning but not majoring in Japanese at university or graduate school (higher education)
- ^{げんざい} 現在、^{ごがくがっこうとう} 語学学校等の^たその他の^{きょういくきかん}教育機関で^{にほんご}日本語を^{まな}学んでいる
learning Japanese at some other educational institution (such as foreign language schools)
- ^{げんざい} 現在、^{きょういくきかん} 1～5の^{にほんご}教育機関で^{まな}日本語を^{まな}学んでいない
not learning Japanese at the educational institutions listed in 1 through 5 above

⑩ 受験目的 Reason for taking this exam

あなたが今回の試験を受ける目的を一つ選んで、□に記入してください。

Fill in the number of the **one item** that best describes your reason for taking this exam.

1. 大学や大学院入学に必要な（自分の国で）
necessary for admission into university or graduate school in own country
2. 大学や大学院入学に必要な（日本で）
necessary for admission into university or graduate school in Japan
3. その他の教育機関での入学や能力証明に必要な（自分の国で）
necessary for admission or as proof of proficiency for other educational institution in own country
4. その他の教育機関での入学や能力証明に必要な（日本で）
necessary for admission or as proof of proficiency for other educational institution in Japan
5. 自分の仕事やこれからの就職・昇給・昇進に役立つ（自分の国で）
useful for work or will be useful in order to attain employment, secure salary increase or promotion in own country
6. 自分の仕事やこれからの就職・昇給・昇進に役立つ（日本で）
useful for work or will be useful in order to attain employment, secure salary increase or promotion in Japan
7. 上の1～6以外で、自分の実力が知りたい
to measure my own level of proficiency for reasons other than 1 through 6 above
8. その他
other

⑪ 職業 Occupation

あなたの職業について、一つ選んで、□に記入してください。

Fill in the number of the **one item** that best describes your **occupation**.

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 小学生（初等教育） elementary school student (primary education) 2. 中学生・高校生（中等教育）
middle school or high school student (secondary education) 3. 大学・大学院生（高等教育）
university or graduate school student (higher education) 4. 語学学校等のその他の教育機関の学生
student of some other educational institution (such as foreign language school) 5. 就業（会社員・公務員・教員・自営等）
employed (company employee, public servant, educator, self-employed, etc.) 6. その他 other | <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 4em; margin-right: 10px;">}</div> <div style="text-align: center;"> 
 ⑬に進む
 Go to
 question
 No.⑬ </div> </div> |
| <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;">  </div> <div> ⑫に進む Go to question No.⑫ </div> </div> | |
| <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;">  </div> <div> ⑬に進む Go to question No.⑬ </div> </div> | |

⑫は、⑪で5を選んだ人だけに聞きます。

Question No. 12 must be answered only by those who chose 5 in No. 11 above.

⑫ 職業の種類 Occupational details

あなたに最も当てはまるものを一つ選んで、□に記入してください。

Fill in the number of the **one item** that applies to you the most.

1. 教育機関の日本語教員として仕事で日本語を使っている
using Japanese while working as a Japanese-language teacher at educational institution
2. 公的機関に勤務して仕事で日本語を使っている
using Japanese while working as a public servant
3. 製造業、建設業、情報通信業などの企業に勤務して仕事で日本語を使っている
using Japanese while working as a company employee, such as in the manufacturing, building, or information and communication industries
4. サービス業、観光業、接客業などの仕事で日本語を使っている
using Japanese while working as an employee in the service, tourism, or hospitality industries
5. 1～4以外の職業で仕事で日本語を使っている
using Japanese at a job other than 1 through 4 above
6. 仕事で日本語は使わない
do not use Japanese while working

⑬～⑲は、すべての人に聞きます。

Questions No. 13 through No. 29 must be answered by all applicants.

- ⑬ 日本語との接触媒体 (メディア) Media via which you come into contact with Japanese language
あなたは教室の外で何を通して日本語を聞いたり読んだりしますか。当てはまるものを選んで、○で囲んでください。いくつ選んでもいいです。

Through which media do you listen or read Japanese outside of the class? Circle the number (s) of the following items that apply to you. **If multiple items apply, circle all applicable items.**

- | | |
|----------------------------|--|
| 1. ニュース・ドキュメンタリー番組 | TV news program and documentaries |
| 2. ドラマ (アニメを除く) | drama (excluding animation) |
| 3. アニメ | animation |
| 4. 新聞・雑誌 (漫画を除く) | newspapers and magazines (excluding manga) |
| 5. 本 (教科書を除く) | books (excluding textbooks) |
| 6. 漫画 | manga |
| 7. ウェブサイトの記事 | articles on websites |
| 8. その他 | other |
| 9. 教室外で日本語にふれて、聞いたり読んだりしない | do not come into contact with Japanese language outside of class |

● にほんご しょう あいて **日本語を使用する相手** The person with whom you usually communicate in Japanese
にちじょうてき だれ たい にほんご つか あ えら かこ
 日常的に、誰に対して日本語を使いますか。当てはまるものを選んで、○で囲んでください。いく
えら
 つ選んでもいいです。

With whom and how do you usually communicate in Japanese? Circle the number(s) of the following items that apply to you. **If multiple items apply, circle all applicable items.**

⑭ せんせい **先生** With a teacher

- | | |
|--|--|
| 1. <small>せんせい</small> <small>はな</small> 先生と話す | talking in Japanese with the teacher |
| 2. <small>せんせい</small> <small>はなし</small> <small>き</small> 先生の話を書く | listening to what the teacher says in Japanese |
| 3. <small>せんせい</small> <small>か</small> <small>よ</small> 先生が書いたものを読む | reading what the teacher wrote in Japanese |
| 4. <small>せんせい</small> <small>たい</small> <small>ぶんしょう</small> <small>か</small> 先生に対して文章を書く | writing in Japanese to the teacher |
| 5. <small>あ</small> どれにも当てはまらない | none of the above |

⑮ ゆうじん **友人** With friends

- | | |
|--|---|
| 1. <small>ゆうじん</small> <small>はな</small> 友人と話す | talking in Japanese with friends |
| 2. <small>ゆうじん</small> <small>はなし</small> <small>き</small> 友人の話を書く | listening to what friends say in Japanese |
| 3. <small>ゆうじん</small> <small>か</small> <small>よ</small> 友人が書いたものを読む | reading what friends wrote in Japanese |
| 4. <small>ゆうじん</small> <small>たい</small> <small>ぶんしょう</small> <small>か</small> 友人に対して文章を書く | writing in Japanese to friends |
| 5. <small>あ</small> どれにも当てはまらない | none of the above |

⑯ かぞく **家族** With family

- | | |
|---|--|
| 1. <small>かぞく</small> <small>はな</small> 家族と話す | talking in Japanese with the family |
| 2. <small>かぞく</small> <small>はなし</small> <small>き</small> 家族の話を書く | listening to what the family say in Japanese |
| 3. <small>かぞく</small> <small>か</small> <small>よ</small> 家族が書いたものを読む | reading what the family wrote in Japanese |
| 4. <small>かぞく</small> <small>たい</small> <small>ぶんしょう</small> <small>か</small> 家族に対して文章を書く | writing in Japanese to the family |
| 5. <small>あ</small> どれにも当てはまらない | none of the above |

⑰ じょうし **上司** With a supervisor

- | | |
|--|---|
| 1. <small>じょうし</small> <small>はな</small> 上司と話す | talking in Japanese with the supervisor |
| 2. <small>じょうし</small> <small>はなし</small> <small>き</small> 上司の話を書く | listening to what the supervisor says in Japanese |
| 3. <small>じょうし</small> <small>か</small> <small>よ</small> 上司が書いたものを読む | reading what the supervisor wrote in Japanese |
| 4. <small>じょうし</small> <small>たい</small> <small>ぶんしょう</small> <small>か</small> 上司に対して文章を書く | writing in Japanese to the supervisor |
| 5. <small>あ</small> どれにも当てはまらない | none of the above |

⑱ どうりょう **同僚** With colleagues

- | | |
|---|--|
| 1. <small>どうりょう</small> <small>はな</small> 同僚と話す | talking in Japanese with colleagues |
| 2. <small>どうりょう</small> <small>はなし</small> <small>き</small> 同僚の話を書く | listening to what colleagues say in Japanese |
| 3. <small>どうりょう</small> <small>か</small> <small>よ</small> 同僚が書いたものを読む | reading what colleagues wrote in Japanese |
| 4. <small>どうりょう</small> <small>たい</small> <small>ぶんしょう</small> <small>か</small> 同僚に対して文章を書く | writing in Japanese to colleagues |
| 5. <small>あ</small> どれにも当てはまらない | none of the above |

①⑨ 顧客 With customers

- | | |
|----------------|---|
| 1. 顧客と話す | talking in Japanese with customers |
| 2. 顧客の話を聞く | listening to what customers say in Japanese |
| 3. 顧客が書いたものを読む | reading what customers wrote in Japanese |
| 4. 顧客に対して文章を書く | writing in Japanese to customers |
| 5. どれにも当てはまらない | none of the above |

②⑩～②⑨ 日本語能力試験の過去の受験回数とその合否 Times of taking JLPT and “Pass” or “Fail”

あなたは今まで（今回の受験を含めない）に何回JLPTを受験しましたか。レベル（級）ごとに、数字を□に記入してください。受験したことがないレベル（級）は、何も書かないでください。9回以上受験した人は、9と書いてください。

また、その一番直近の合否について、当てはまるものを、レベル（級）ごとに一つ選んで、○で囲んでください。

How many times have you taken JLPT, excluding this time? Write the number in the box for each level. Circle “Pass” or “Fail” at each level about the last JLPT you took. Leave it blank if you have not taken that level before. If you have taken it 9 times or more, write 9.

③⑩ 署名 Signature

この受験案内に書いてあるすべてのことを理解し、同意した上で出願する場合、応募者本人が署名と日付を記入してください。以下の理由で応募者本人が署名をするのが困難な場合は、代理人が応募者本人に受験案内の内容を伝え、代理人が署名してください。出願するためには署名は必須です。

- ・ 応募者が未成年の場合
- ・ 身体等に障害があり、自身で署名することが困難な場合

Write your signature and the date in the space provided if you understand and agree to all the conditions and contents of this Test Guide. If it is difficult for the applicant to sign the Application Form for the following reasons, a representative can sign on behalf of the applicant. A signature is required in order to apply for this test.

-Underage applicants

-Applicants with disabilities

③① 試験結果通知書類送付用住所・電話番号と電子メール Mailing Address・Tel and Email Address

英語アルファベット、またはあなたの母語で、確実に「認定結果及び成績に関する証明書」および「日本語能力認定書」を受けとることのできる住所をはっきりと書いてください。なお、実施地によっては、指定場所での手渡しとする場合もあります。詳しくは応募者の実施機関へお尋ねください。

Write your address in English characters or your native language where you are sure to receive your certificates. Depending on the host institution, the certificates may be handed directly to you at a specified place. For further details, please contact the applicant's host institution.

③② 写真 Photos

受験票と受験票(控)の写真欄にそれぞれ一枚ずつ貼ってください。

In box ③② of the Test Voucher and the Test Voucher (Copy), attach a portrait (full-face) photo.

○よい写真 シャシン	×よくない写真 シャシン
・ 3～4cm×3cmの大きさのもの ・ 6ヶ月以内に撮影したもの ・ 裏に名前と生年月日を書いたもの ・ 白黒またはカラーで撮ったもの - デジタルカメラで撮ったものでもよい (写真用の紙にプリントしてください。) ・ フチがないもの	・ 3～4cm×3cmより大きいもの、小さいもの ・ 背景があるもの(濃い色の背景) ・ 不鮮明なもの(暗いもの) ・ 目を閉じているもの ・ 帽子をかぶったもの ・ サングラスをかけたもの ・ 手が写っているもの ・ スナップ写真(他の人と一っしょに写っているものなど) ・ 顔が小さすぎるもの、大きすぎるもの ・ カラーコピー ・ ふつうの紙にプリントしたもの

○Acceptable photos	×Unacceptable photos
・ 3～4cm high × 3cm wide ・ Taken within the past 6 months ・ Name and date of birth are written on the back ・ May be black and white or color - May be taken with a digital camera (be sure to print on photographic paper) ・ Borderless photos	・ Photos larger or smaller than 3～4cm × 3cm ・ Taken against a non-solid background (dark background) ・ Blurred photos (too dark) ・ Your eyes are closed ・ You are wearing a hat ・ You are wearing sunglasses ・ Your hands are in photos ・ Snapshots, such as taken together with other people ・ Your face is too small or too big relative to the photo size ・ Color photocopies ・ Photos printed on ordinary copy paper

6. 試験問題の内容 Contents of Test Questions

日本語能力試験の問題例を、日本語能力試験公式ウェブサイト(<https://www.jlpt.jp/>)で公開しています。なお、日本語能力試験では、得点に加算されない設問が含まれることがあります。こうした設問は、毎回同じ基準で得点を評価できるよう試験を管理したり、新しい設問が実際の試験環境でどのように機能するかを確認したりするためのものです。

Sample questions of the JLPT are available on the JLPT website at <https://www.jlpt.jp/e/>. There may be extra questions in the JLPT which do not count toward your score. These questions work in order that the Japan Foundation and Japan Educational Exchanges and Services are able to make test scores comparable across administrations or to determine how new questions function under actual test conditions.

【マークシート（かいとうようし解答用紙）みほん見本 Sample】

※^{うえ みほん じっさい}上の見本は^{こと}実際のマークシートと異なることがあります。

– 32 –

(1) 記入上の注意 Note

あなたが選び、マークした部分は、機械が読み取ります。以下の注意をよく読んでください。

- ① 解答用紙に記入する時は、必ず黒の鉛筆（No.2、HB、Bまたは2B）を使ってください。
ボールペンやペンを使用した場合は採点されません。
- ② マークはマーク欄の番号や記号が見えなくなるように黒くぬってください。
- ③ 鉛筆が薄いもの、きちんとマークされていないものは機械が読み取れません。
- ④ マークした部分を直す時は、消しゴム（できればプラスチック消しゴム）を使ってください。鉛筆のあとや、消しゴムのくずが残らないようにきれいに消してください。
※消しゴム以外のもの（インク消しなど）は使用できません。
- ⑤ 問題用紙の解答番号と同じ番号の欄に解答してください。

Your answer sheet will be processed by machine. Please follow the instructions below.

- ① Use a medium-soft (No.2, HB, B or 2B) black-lead pencil.
Answer sheets written with any kind of pen will be invalid.
- ② Completely fill each circle with a dark mark, so that the number inside the circle cannot be seen.
- ③ Light or partial marks may not be machine-readable.
- ④ If it is necessary to correct your answer, use a plastic (or gum) eraser, making sure to cleanly and completely erase the mark.
* You must not use an ink eraser or any materials other than those mentioned above.
- ⑤ Please mark each answer in the box with the same number printed next to the question.

【練習 Practice】

次のマーク例をよく見て、①と②が同じになるように、①の該当欄にマークしてください。

Mark column ①, so that it is marked the same as column ②.

【マーク例 Sample】

よい例 Correct Example	わるい例 Incorrect Examples
●	⊗ ⊕ ○ ⊖ ⊗ ⊕ ⊖

①

もん 問	だい 題	1
1	① ② ③ ④	
2	① ② ③ ④	
3	① ② ③ ④	
4	① ② ③ ④	
5	① ② ③ ④	
6	① ② ③ ④	

②

もん 問	だい 題	1
1	① ② ● ④	
2	● ② ③ ④	
3	① ● ③ ④	
4	① ② ③ ● ④	
5	① ② ● ④	
6	① ② ● ④	

(2) 受験番号と生年月日の書き方

How to Fill in your Registration Number and Date of Birth

試験が始まる前に、あなたの受験番号と生年月日を、下の例のように解答用紙に書いて、受験番号については黒くぬってください。この時に、受験票と解答用紙の受験番号が同じになるように注意してください。

Before the test starts, you must fill in your registration number and date of birth on the answer sheet. As shown in the following example, fill in the circles corresponding to your registration number. Please make sure that the registration number on your answer sheet is the same as the one on your Test Voucher.

【^{れい}例 Example】

じゅけんひょう じゅけんばんごう
受験票の受験番号 Registration Number on Your Test Voucher

じゅけんばんごう Examinee Registration Number

2	6	A	1	0	7	0	5	0	3		4	0	8	6	3
(ねん)	(エリア)	(くに・ちいき)	(とし)	(かいじょう)	(レベル)	(こじんばんごう)									

かいとうよう し じゅけんばんごう
解答用紙の受験番号 Registration Number on Your Answer Sheet

①
じゅけんばんごう
受験番号を
か
書いてください。
Write your
registration
number.

受験番号
(Examinee Registration Number)
26A1070503=40863



じゅけんばんごう おな すうじ
受験番号と同じ数字を
くろ
黒くぬってください。

Fill in the circles
corresponding to your
registration number.

受験番号
(Examinee Registration Number)

26A1070503=40863



②
せいねんがっ ぴ
生年月日を
か
書いてください。

ねん Year				つき Month		ひ Day	
1	9	8	1	1	0	1	4

Write your
Date of birth

(3) 答えの書き方 How to Fill in the Answers

この試験の解答形式はすべて選択式（答えを選ぶ形式）です。正しいと思う答えを一つだけ選び黒くぬります。あなたが選んだ答えのすべてが、黒くぬられているかどうか確かめてください。

All of the questions in this test will be multiple choice. Please fill in the circles on the answer sheet that you think correspond to the correct answer. Please be sure to fill the entire circle.

【例】 Sample Marks

【N1】 【N2】

「言語知識（文字・語彙・文法）・読解」
“Language Knowledge (Vocabulary/Grammar) & Reading”
(問題 1)

「聴解」
“Listening”
(問題 4)

「聴解」
“Listening”
(問題 5)



もん 問	だい 題	1		
1	①	●	③	④
2	●	②	③	④
3	①	②	●	④
4	①	②	●	④
5	①	②	③	●
6	●	②	③	④



もん 問	だい 題	4		
れい 例	①	②	●	
1	①	●	③	
2	●	②	③	
3	●	②	③	
4	①	●	③	
5	①	②	●	
6	●	②	③	
7	①	②	●	
8	①	●	③	
9	①	②	●	



もん 問	だい 題	5		
1	●	②	③	④
2	①	②	●	④
3	(1)	①	●	③
	(2)	①	②	③
			④	●

【N3】 【N4】 【N5】

「言語知識（文字・語彙）」
「言語知識（文法）・読解」
“Language Knowledge (Vocabulary)”
“Language Knowledge (Grammar) & Reading”
(問題 1)

「聴解」
“Listening”
(問題 1)

「聴解」
“Listening”
(問題 4)



もん 問	だい 題	1		
1	●	②	③	④
2	①	●	③	④
3	①	●	③	④
4	①	②	③	●
5	①	②	●	④
6	●	②	③	④
7	①	●	③	④
8	①	②	③	●



もん 問	だい 題	1		
れい 例	●	②	③	④
1	①	②	●	④
2	①	②	③	●
3	●	②	③	④
4	①	●	③	④
5	①	●	③	④
6	①	②	③	●



もん 問	だい 題	4		
れい 例	●	②	③	
1	①	●	③	
2	①	②	●	
3	①	●	③	
4	●	②	③	

8. 願書記入データおよび採点結果等の利用

Confidentiality of Contents of the Application Form and JLPT Scores

願書に記入された個人情報、主催者（国際交流基金ならびに日本国際教育支援協会）および試験実施機関が、試験に関わる業務にのみ使用します。また、日本語能力試験の願書への記入事項および採点結果等は、個人は特定できない形で、主催者および試験実施機関が本試験の統計分析に利用します。また、国際交流基金では、応募者から収集した個人を特定できる情報を、意図的に第三者に開示することは一切ありません。ただし、以下に掲げる三つの例外的な場合を除きます。

- ・ 法的根拠に基づく請求であって、開示することが妥当と認められる場合
- ・ 情報の提供に伴って、特に第三者への開示についての承諾を提供者から得ている場合
- ・ 国際交流基金の収集した情報の処理に関して業者等に委託する際に、当該業務の履行に必要な範囲において開示する場合

願書に記入した個人情報の利用目的の通知、開示、内容の訂正、追加または削除、利用の停止、消去および第三者への提供の停止を希望する場合は、国際交流基金の個人情報保護方針に基づき対応し、取得した個人情報を本人の同意を得た範囲内でのみ取り扱うこととします。

願書を出した人は、この受験案内に書いてあるすべてのことに同意したものとみなします。

EEA（欧州経済領域）から受験申し込みをされる方は、GDPRに対応したプライバシーポリシー（<https://www.jpj.go.jp/e/privacy/index.html#gdp>）を必ずご確認ください。

EEAから申請される方で16歳未満の場合は、保護責任者の同意を得た上で、受験申し込みを行ってください。

The personal information given on your application form is used by the organizers only for the purpose of conducting the test. Your test score data and the contents of the application form may be used by the sponsors (the Japan Foundation and Japan Educational Exchanges and Services) or local host institutions for statistical and analytical purposes. No examinees are able to be identified individually from such data or analysis.

The Japan Foundation will not intentionally reveal identifying information collected from applicants to a third party, except in the following three cases:

- If there is a legal obligation to supply such information and when it is recognized to be appropriate to disclose the information
- If the consent of the owner of the information is obtained
- If it must be revealed to an external service provider contracted by the Japan Foundation to provide information processing service. In such cases, information is revealed only within the scope necessary for the performance of the said work.

Requests for notifications concerning usage purposes of personal information given on your application form, disclosure, correction of details, addition or deletion of information, stoppage of use, complete deletion, as well as stopping provision to third parties shall be handled in accordance with the Japan Foundation privacy policy.

Those who send in the application form are assumed to have agreed to all the conditions and contents of this Test Guide.

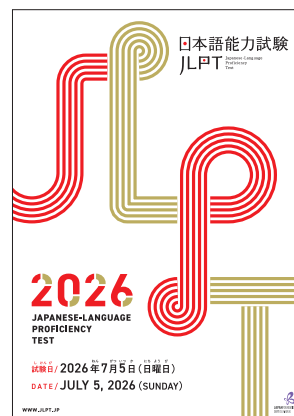
Those who are applying from the European Economic Area (EEA) must read the GDPR privacy policy for users in the EEA (<https://www.jpj.go.jp/e/privacy/index.html#gdp>).

Those who are under the age of 16 and applying from the EEA must obtain the consent of a parent or guardian before applying for the test.

に ほ ん ご の う り ょ く し け ん

日本語能力試験

JLPT Japanese-Language Proficiency Test



と あ さ き
問い合わせ先 Inquiries

もう こ ほう ほう とう ぐ たい て き て つづ じつ し ち こと ちよく せつ じゅ けん
申し込みの方法等具体的な手続きは実施地ごとに異なります。くわしくは、直接受験したい
とし じつ し き かん と あ
都市の実施機関にお問い合わせください。

Procedures such as registration method vary by test site. For further information please inquire at the local host institution in the country where you plan to take the test.

じゅ けん ち じつ し き かん に ほ ん ご の う り ょ く し け ん こう し き かい がい じつ し と し じつ し き かん い ち ら ん
受験地の実施機関は、日本語能力試験公式ウェブサイトの「海外の実施都市・実施機関一覧」
さ が
からお探しいただけます。

Local host institutions can be found on the “List of Overseas Test Site Cities and Local Host Institutions” on the JLPT official website.

www.jlpt.jp

に ほ ん ご の う り ょ く し け ん こう し き し けん もん だい れい こう し き もん だい しゅう しゅう に ほ ん ご
日本語能力試験公式ウェブサイトには、試験の問題例や公式問題集、またリンク集に日本語
がく しゅう やく だ じょう ほう の
学習に役立つウェブサイトなど、たくさんの情報が載っています。

The JLPT official worldwide website contains a wealth of information including sample questions, official practice workbooks for the JLPT, and a list of Japanese-language education websites on the links page.

かい がい に ほ ん ご の う り ょ く し け ん じつ し
海外での日本語能力試験の実施 JLPT overseas

どくりつぎょうせいほうじん こくさいこうりゅう き きん
独立行政法人 国際交流基金
に ほ ん ご し けん
日本語試験センター

The Japan Foundation
Center for Japanese-Language Testing